

# 令和2年度 議会報告会

## 予算決算委員会 報告

- 1 予算・決算の概要
- 2 令和元年度決算の概要



予算決算委員会から令和元年度決算の概要についてご報告します。予算決算委員会は予算及び決算に関する事項を所管し、議長を除く全議員が所属しています。

# 1 予算・決算の概要

## 〔議会の権限〕

### ◆議決権(地方自治法第96条)

- ・地方公共団体の意思または機関としての議会の意思を決定するための権限

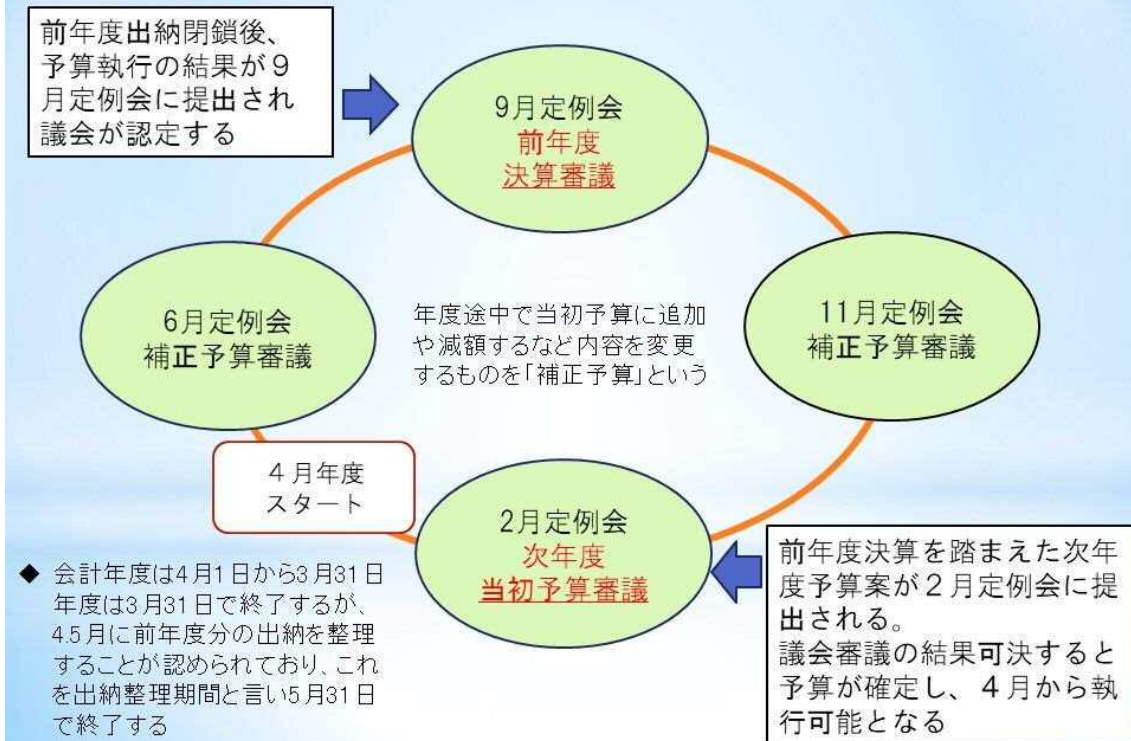
### ○議決案件の例

- ・条例の制定、改正
- ・予算の決定、決算の認定
- ・工事などの契約締結
- ・財産の取得、処分

議会の権限の一つとして、議決権があります。これは地方公共団体の意思または議会の意思を決定するための権限です。

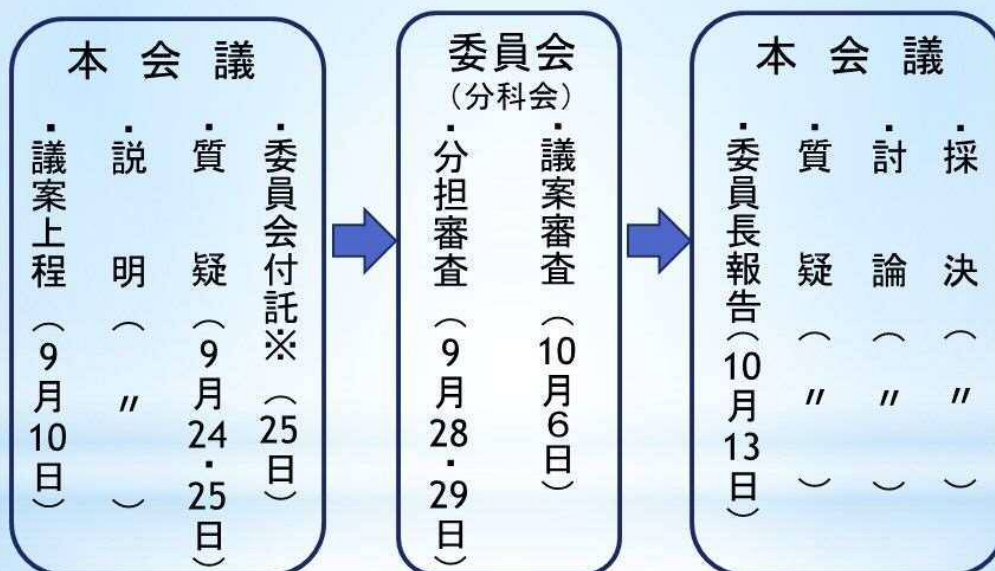
議決案件の例としては、条例の制定、改正、予算の決定、そして今回説明します決算の認定などがあります。

## 〔予算・決算の流れ〕



次に、予算決算の流れですが、4月に年度がスタートしてから、9月定例会で前年度の決算、2月に次年度の当初予算、6月、11月には補正予算の審議を行うサイクルで動いています。

〔決算議案審議の流れ（令和2年9月定例会）〕



※予算・決算議案は、予算決算委員会に議案を付託し、審査を各分科会（総務・民生教育・建設産業）に分担して審査する

次に、今回の9月定例会での決算議案審議の流れですが、図の左の議案上程から質疑、委員会での議案審査、討論、採決までになりますが1月程度かけて審議を行います。

## 2 令和元年度決算の概要

### 〔決算の状況〕

区分\会計	普通会計	事業会計	公営企業会計	合計
歳入	667億 5011万5千円	319億 3562万1千円	305億 2742万1千円	1292億 1315万7千円
歳出	656億 2094万9千円	312億 6090万5千円	336億 4354万0千円	1305億 2539万4千円
形式収支	11億 2916万6千円	6億 7471万6千円	△31億 1611万9千円	△13億 1223万7千円
翌年度繰越	2億 5238万9千円	0千円	1億 6268万8千円	4億 1507万7千円
実質収支	8億 7677万7千円	6億 7471万6千円	△32億 7880万7千円	△17億 2731万4千円

※上記は普通会計1、事業会計8、企業会計3の全12会計の概要。（浅羽地域湛水防除施設組合会計決算は除く）

次に令和元年度の決算の状況ですが、表では普通会計と記載していますが、ここでは一般会計と言います。一般会計においては、歳入決算額が667億5011万5千円、歳出決算額656億2094万9千円となりました。

また、事業会計・公営企業会計を加えた総合計では、歳入決算額が1292億1315万7千円、歳出決算額が1305億2539万4千円となりました。

また、一般会計では、形式収支になりますが、歳入歳出差引額11億2916万6千円から、翌年度に繰り越すべき財源2億5238万9千円を差し引いた、実質収支額8億7677万7千円のうち、4億4000万円を財政調整基金に積み立て、残りの4億3677万7千円を令和2年度に繰り越しました。



## 〔主な財政指標〕

### 起債残高

- 返済しなければならない借入金の残高
- 普通会計残高：504億4450万0千円  
(30年度比：約7億円減)
- 全会計残高：999億4314万1千円(30年度比：約35億円減)

### 財政力指数：0.852

- 標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どのくらい自力で用意できるのかを示している。数値が「1.0」を超えると財政基盤がしっかりしていると判断され、国から地方交付税が交付されない

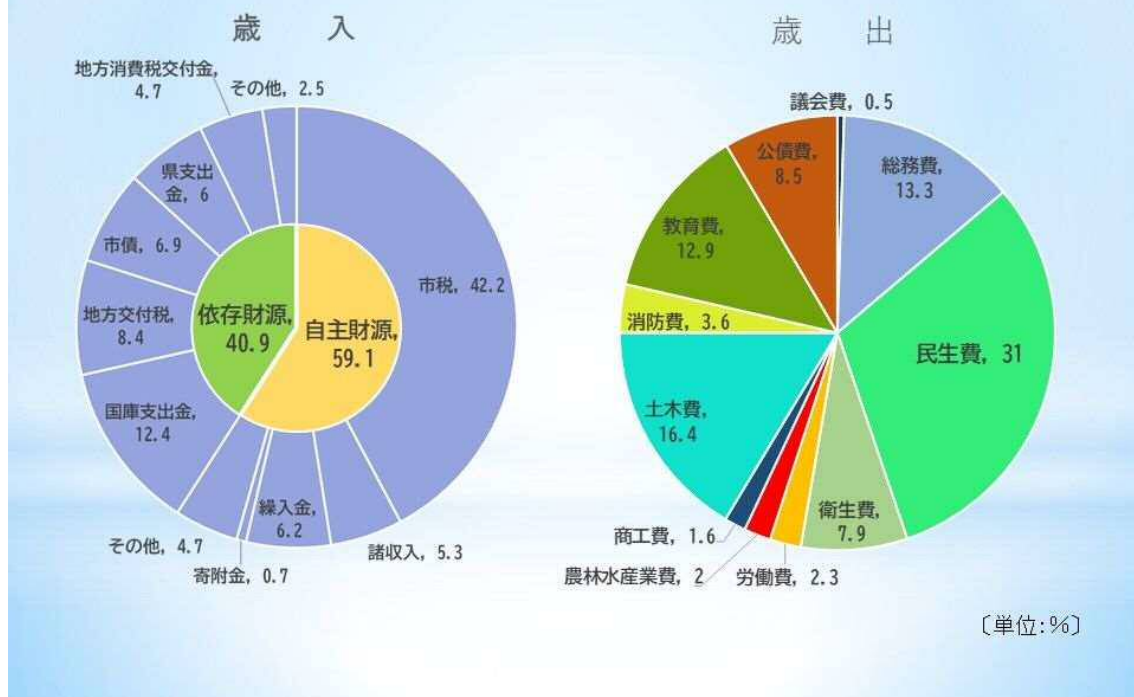


次に、主な財政指標についてですが、まず起債残高ですが、これは市が返済しなければならない借入金の残高で、いわゆる市の借金になります。全会計の残高は999億4314万1千円で前年度より35億円の減となりました。表で過去の全会計の残高推移を表しておりますが、平成21年度では約1348億円ありましたので、10年間で約350億円減ったこととなります。

次に財政力指数ですが、「1.0」を超えると財政基盤がしっかりしていると判断され、国から地方交付税が交付されなくなりますが、令和元年度の磐田市の指数は0.852となります。

次に、隣の表は、財政調整基金の推移ですが、これは市の貯金といえるもので、令和元年度末の残高は約83億円となりました。

## 〔一般会計の状況〕



次に、一般会計の歳入・歳出の状況については、円グラフのとおりです。自主財源が59.1%、依存財源が40.9%となりました。

歳出は、費目ごとに表しておりますが、民生費が全体の約3分の1を占めています。

## 〔一般会計歳入の概要〕

### 市税

- ▶ 法人市民税・・・ 大手輸送・機械製造法人の検査問題による減産の影響等により、30年度比5億9480万7千円減の23億4530万6千円
- ▶ 市税全体 …… 30年度比0.6%減の281億3491万6千円

### 市債

- ▶ クリーンセンター周辺環境整備事業の減額などにより30年度比12.7%減の46億2771万2千円

次に、歳入の概要ですが、歳入の主要な科目である市税について、市民税が、大手輸送・機械製造法人の検査問題による減産の影響等に伴う法人市民税の減などにより、前年度比3.5%減となり、市税全体でも前年度比0.6%減の281億3491万6千円となりました。

また、市債については、クリーンセンター周辺環境整備事業や（仮称）中泉こども園整備事業への市債の減などにより前年度比12.7%減の46億2771万2千円となりました。



## 〔一般会計歳出の概要(主な事業)〕

### 子育て支援・教育の充実

- ながふじ学府小中一体校の建設工事着手
- 小中学校普通教室への空調設備の設置
- こども・若者相談センターを開設



プラザにあるこども・若者相談センター

### 市民の安全・安心の確保

- 大規模停電対策や水害・土砂災害のハザードマップ作成
- 消防の救助工作車を更新

次に、歳出の概要について、主な事業ですが、「子育て支援・教育の充実」では、ながふじ学府小中一体校の建設工事への着手や、こどもから大人まであらゆる相談に対応するため、iプラザ内にこども・若者相談センターを開設しました。

「市民の安全・安心の確保」では自然災害への対応として、大規模停電への対策や水害・土砂災害のハザードマップの作成を進めるとともに、消防の救助工作車を更新しました。

## 地域づくりの推進と福祉の充実

- (仮称)磐田市文化会館の建設工事着手
- ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地の対応、機運醸成
- 障害者相談支援センターの増設

## 産業の育成と都市基盤整備

- JR御厨駅の整備完了、3月に開業
- 地域経済の活性化や雇用の維持・確保に向けて、中小企業等の事業承継への支援



JR御厨駅

「地域づくりの推進と福祉の充実」では、(仮称)磐田市文化会館の建設工事への着手や障害者相談支援センターの増設を行い、「産業の育成と都市基盤の整備」では、JR 御厨駅の整備が完了し、地域経済の活性化や雇用の維持・確保に向けて、中小企業等の事業承継への支援に新たに取り組みました。

## 〔決算議案 採決の結果〕

➤ 普通会計、事業会計、公営企業会計等の13会計の決算を認定

番号	会計名	採決結果
1	一般会計	賛成多数
2	駐車場事業特別会計	全会一致
3	国民健康保険事業特別会計	全会一致
4	後期高齢者医療事業特別会計	全会一致
5	介護保険事業特別会計	全会一致
6	広瀬財産区特別会計	全会一致
7	岩室財産区特別会計	全会一致
8	虫生財産区特別会計	全会一致
9	万瀬財産区特別会計	全会一致
10	水道事業会計	全会一致
11	下水道事業会計	全会一致
12	病院事業会計	全会一致
13	浅羽地域湛水防除施設組合会計	全会一致

最後に採決の結果ですが、一般会計については、賛成多数、他の会計は全会一致により、いずれも原案どおり可決しました。

## 〔採決時の討論（賛成反対の意見表明）〕

議案名	主な反対意見	主な賛成意見
認第1号 （一般会計）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和元年度から幼稚園・保育園の民営化が進められている。福祉、教育、環境にかかる施策は、コストのみで図ることはできない。</li> <li>➤ 令和元年9月に4つの子育て支援センターの閉鎖する方針を示したことに對し、利用者が計画の見直しを求めた問題。</li> <li>➤ 「学府一体校構想」ではなく、小規模であっても地域に残して充実させ、地域づくりを進める取り組みが必要。</li> <li>➤ 民営化・民間委託化を進めるのではなく市職員の正規雇用の確保を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 歳出決算額は667億5千万円で、過去最大規模となったが、防潮堤整備や御厨駅などの大型事業を推進したほか優先施策に基づき多くの課題に取り組んだ結果と考える。新たな時代に対応するための課題の解決、新たな発展への事業が実施されたと評価する。</li> <li>➤ 扶助費の増加、大型事業の進捗等により、将来への負担上昇も想定されるが健全で持続可能な財政運営につとめながら「たくさんの元気を笑顔があふれるまち磐田」の実現を目指し、邁進することを期待する。</li> </ul>

◆ 今回の決算審議での議会の意見を受け、さらに新型コロナウイルス感染症の影響による景気落ち込みに伴う市税収入の減少が予想される厳しい状況の中、令和3年度当初予算が編成され、令和3年2月19日からの2月定例会で審議されますので、ぜひ2月定例会もご注目ください。

一般会計決算については討論が行われ、表のとおり反対意見、賛成意見が出されました。

来年2月定例会では今回の決算審議の議会の意見を踏まえ、令和3年度の予算案が提出されますので、2月19日から予定している2月定例会もご注目ください。

以上で予算決算委員会から令和元年度決算についての報告を終わります。